



市政報告春号

# ひまわり通信



## 周子、代表質問に立つ！ 災害に強いまちづくりについて



- 1 福祉施策に関して
  - (1) 新型コロナウイルス感染症の現況と今後の見通しについて
  - (2) 子育てするなら倉敷で
  - (3) 日中一時支援事業所に関して
  - (4) 脳せき髄液減少症に関して
  - (5) ケアラー条例の制定を
- 2 教育行政に関して
  - (1) 小中学校の適正配置について
  - (2) 不登校児童生徒の対応について
  - (3) 学校給食調理場について
  - (4) 中央図書館について
- 3 G7倉敷労働雇用大臣会合について
  - (1) 周知方法やその内容について
  - (2) G7倉敷こどもサミットについて
- 4 災害に強いまちづくりについて
  - (1) 災害にあった真備地区の復興状況と今後の課題について
  - (2) ドローンを活用した取り組みについて
  - (3) 地区防災組織の充実と連携を
  - (4) 緊急告知FMラジオ購入費補助事業について
  - (5) 要配慮者によりそった避難所運営を
- 5 環境行政について
  - (1) ゼロカーボンシティの実現に向けた本市の取り組みについて

- (2) 海ごみについて
- 6 人口減少社会について
  - (1) 倉敷の魅力発信を
- 7 鉄道高架事業について
  - (1) これまでの経緯と今後について
- 8 ふるさと納税について
  - (1) 現況について

以上、8項目について、未来クラブを代表して質問しました。

一般質問は、毎回質問に立っていましたが、代表質問は久しぶりで、原稿作成が大変でしたが、達成感がありました。

会派としての重点要望事項、市民の皆さんからのご要望や問題点に着眼して、全般的な内容にしました。この度の当初予算で、子育て支援のなかで、中学校までの通院費の無償化を評価させていただきました。

福祉施策に関しては、脳せき髄液減少症になる方が増加している現状を踏まえ、学校や福祉部局、病院、関係機関に周知していただくように求めました。

教育行政に関しては、小中学校の適正配置計画については、委員会の皆さまのご意見を踏まえていき、中央図書館につきましても、パブコメを踏まえて成案として公表していくとの答弁でした。

災害に強いまちづくりについては、地区防災会の充実を考え、推進している防災組織のとの交流会等を求め、要介護者に寄り添った支援体制を各地域ごとに取り組んでいくよう要望しました。

緊急告知FMラジオ購入補助金で、避難行動要支援者とスマートフォンを所有していない65歳以上の方のみの世帯に、2000円で購入できるように差額を補助することになりました。

小学校特別教室にエアコンが設置されることになりました。

環境施策については、「ゼロカーボンシティくらしき」の実現に向けて、さまざまな分野において、温室効果ガスの削減にむけて、取り組んでまいりますとの答弁でした。

今後も皆さんのお声を反映していきたいと思っています。

教育行政に関してのご意見をお聞かせください。